

現役世代の実行力!!

栗山町議会主催

「議員の学校」第一期卒業生

42歳の挑戦!



夕張郡栗山町字共和540番地

42歳

やづるいなたかひろ

はじめましてさいとうたかひろと申します。

この度栗山町議会議員選挙に立候補させていただきました。

私は昭和56年生まれの42歳です。
私が生まれた昭和56年は18000人に迫る人口でしたが、現在は12000人弱です。当時町を支えてくれた多くの人たちは年金受給者になっています。栗山町は農商工すべての業種が基幹産業であり、近隣から見てもバランスがいい町だと思っています。市街地へ行けば様々なお店があり、また病院もあります。市街地から少し離れたところと活気のある工業団地等の工場があり、そこから先は農村風景が広がります。昔の中心地だった角田には今もたくさんの方が住まわれていますし、昔の産炭地に近い継立地区は今も元気な金業が軒を連ねています。

人口が減り高齢化が進んだとはいえ、まだまだ元気な栗山町です。ですが課題も山積しています。農業で喫緊の課題は肥料、燃料等の原料高と水田地帯栗山町が直面している細地化の問題です。そして農商工間わす問題になっているのが働き手、後継者不足。また、年金の不足による生活困窮や免許返納により移動範囲が限られることによる買物弱者や通院難民。子育て世帯は子どもを預けて働く、預けるお金で時給の大半がなくなってしまうと思うように稼げない。また、ひとり親世帯も含めて子育てにかかるお金が年々増して生活が困窮している話も聞きます。近年のどか雪による除排雪問題や水道料金の高騰は町民全体の不満となっています。

栗山町に住む皆様が少しずつ生活に不便を感じています。コロナやウクライナ問題など外的要因も重なり企業や住民の自助努力だけでは到底乗り越えられない所まで来ていると私は感じています。困っている町民の皆様の下支えをし切れ目のない支援体制を整えるのが町、行政の役目です。

そして町政へ住民の声を届けるのが町議会議員の仕事だと思っています。議員は栗山町民の代表として住民の声を聞き、その声を届けて行かなければいけません。

私は多岐にわたる会社を運営している現役世代として農業・商業・工業、そして働く若者や高齢者、子育て世帯やひとり親世帯、障がい者世帯、市街地から離れたところで過ごす人々など様々な人々と関わりを持ってきました。困った、苦しいという声もたくさん聞いています。そういう、町に属さずらい町民の声を聞けるのは私しかないと思っています。従業員と共に様々な苦難を乗り越えながら会社を運営してきた私だからこその町に伝えられる言葉があると思っています。

栗山町民の皆様
栗山町をより良い町にしていくために「さいとうたかひろ」に
力を貸してください。

斉藤 隆浩

（プロフィール）1981年 栗山町共和生まれ/1996年 栗山町保小・小卒業/1999年 北海道立岩見沢農業高等学校農業科 卒業/2001年 札幌科学技術専門学校二級自動車整備コース 卒業/2001年 就職/2011年 株式会社青森商工/2017年 株式会社KURIMU/2018年 クリムのじんぎずかん 開業/2021年 きょうしん輸送株式会社設立/2022年 farmかくだ村株式会社設立/この他に栗山町44クラブ、そらち南農協青年部、そらち南農協玉ねぎ振興会の役員を歴任栗山町工業団地企業協議会・栗山町商工会青年部で活動中